

資料 2

令和 6 年度 肝炎対策の取組状況

- 1 肝炎ウイルス検査推進事業の実施状況について
- 2 肝炎陽性者フォローアップ事業について
- 3 肝炎医療コーディネーターの養成について
- 4 肝炎治療特別促進事業医療費助成について
- 5 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について

1 肝炎ウイルス検査促進事業の実施状況について

(1) 健康フェスタ 2024 (令和6年11月2日、3日)

レデイ薬局主催の健康フェスタ 2024 に出展し、肝炎ウイルス検査の普及啓発、肝臓専門医による無料相談等を実施。

1) 肝臓専門医による無料相談

○実施協力：愛媛大学肝疾患診療相談センター 行本敦先生 他3名

2) 無料肝炎ウイルス検査 ※令和6年11月2日(土)のみ

○実施時間：9:00~12:30 ※大雨のため午後の部中止

○検査内容：B型及びC型セット84名



3) 肝炎セミナー ※令和6年11月3日(日)のみ

○実施時間：9：30～10：00

○定員：30名(抽選)

○テーマ：生活習慣を見直して肝臓病予防！

○内容：肝臓病は、症状がはっきりせず、非常に進行してから発見されることもあり注意が必要です。肝臓病の中には、ウイルスが原因のもののほか、生活習慣を改善することで予防できるものもあります。肝臓病から身を守るためにできることについて、愛媛大学医学部附属病院の肝臓専門医がわかりやすく解説します。



(2) 肝臓週間（令和6年7月22日～28日）

1) 街頭啓発活動

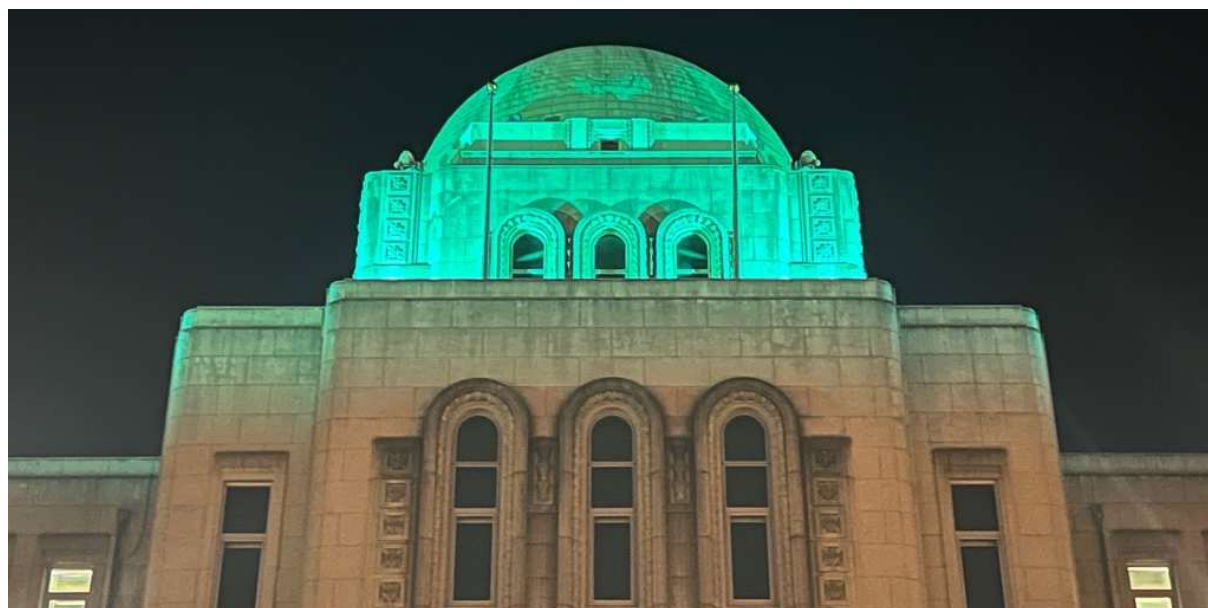
○実施日時：令和6年7月27日（土）14：00～16：00

○実施場所：銀天街出入口（坊ちゃん広場）周辺



2) 県庁本館ドームのライトアップ

○実施日時：令和6年7月22日（月）～28日（日）19：30～21：00



2 肝炎陽性者フォローアップ事業について

(1) 陽性者のフォローアップ

同意を得た者に対し、年1回受診状況の確認及び未受診者へ受診勧奨を行う。

(2) 検査費用の助成

1) 初回精密検査

- ・ 対象は、1年以内に肝炎ウイルス検査で陽性と判断され、フォローアップに同意し、「肝炎ウイルス検診精密検査実施医師」による検査を受けた者
- ・ 助成内容は、初診（再診）料、血液検査、腫瘍マーカー、肝炎ウイルス関連検査、超音波検査等、陽性判明後の精密検査費用として知事が認めた費用

2) 定期検査

- ・ 対象は、肝炎ウイルスを原因とする慢性肝炎、肝硬変、肝がん患者（治療後の経過観察を含む）で、市町村民税所得割 23,500 円未満の世帯かつフォローアップに同意し「肝炎ウイルス検診精密検査実施医師」による検査を受けた者（※肝炎の受給者証の交付を受けている者は除く）
- ・ 助成内容は、初回精密検査費用助成に準じ、診断（治療）後の定期検査費用として知事が認めた費用（※肝硬変、肝がんの場合は、超音波検査に代えてCT撮影又はMRI撮影を対象とすることができる）

(3) 検査費用の助成の実績

	初回 精密検査	定期検査 (延件数)	計	備 考
元年度	10	255	265	職域で実施する肝炎ウイルス検査において陽性と判明した者を初回精密検査の対象に追加
2年度	6	234	240	手術前検査及び妊婦健康診査において陽性と判明した者を初回精密検査の対象に追加
3年度	13	197	210	
4年度	1	184	185	
5年度	4	166	170	
6年度 (1月末時点)	3	72	75	

3 肝炎医療コーディネーターの養成について

平成 27 年度から、肝炎患者や肝炎ウイルス検査陽性者等が適切な肝炎医療や支援を受けられるよう、医療機関、行政機関その他の地域や職域の関係者間の橋渡しを行い、肝炎対策を推進するコーディネーターを養成している。

※本事業は愛媛大学医学部附属病院肝疾患診療相談センターへ委託して実施。

(1) 養成講習会

○開催時期：令和 7 年 2 月 17 日（月）～3 月 16 日（日）

○開催方法：Web による講義

【参考：肝炎医療コーディネーターについて】

肝炎医療コーディネーターとは、身近な地域・職域・病院等に配置され、それぞれが所属する領域に応じて必要とされる肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明等を行う者のこと。本県においては、R 5 年度末時点で 553 人（実人員）を認定している。

(2) 連携会議

コーディネーターの継続的な技能の向上と相互の連携の強化を図るため、令和元年度から養成講習会と組み合わせて開催していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和 2～4 年度は中止としていた。令和 5 年度に現地開催で再開したが、グループワークに十分な参加者が確保できなかった。今年度は、養成講習会と組み合わせてオンライン開催予定。

(3) スキルアップ研修会

○開催時期：令和 6 年 11 月 27 日（水）～12 月 27 日（金）

○開催方法：Web による配信

○内容：パネルディスカッション

愛媛県内の肝疾患専門医療機関における肝炎コーディネーター活動
(参加機関：済生会西条病院、松山市民病院、松山赤十字病院、HITO 病院、県健康増進課、愛媛大学医学部附属病院肝疾患診療相談センター)

ディスカッション①

肝疾患専門医療機関におけるチーム活動

ディスカッション②

愛媛県の肝炎対策と肝炎医療コーディネーター

4 肝炎治療特別促進事業医療費助成について

(1) 医療費助成について

肝炎から肝がんへの進行予防及び肝炎治療の効果的促進を図り、治療の経済的負担を軽減することにより、治療を必要とする全ての肝炎患者が適切な治療を受けられるよう、抗ウイルス治療にかかる医療費を助成している。

(2) 認定審査実績

過去5年間の審査実績は表1のとおり。

C型肝炎ウイルス治療に係るインターフェロンフリー治療薬、及びB型肝炎ウイルス治療に係る核酸アナログ治療薬は、表2・3のとおり。

表1. 医療費助成審査件数 (単位：件)

年度	インターフェロンフリー				核酸アナログ製剤			
	新規	再治療	合計	(左記のうち) 不承認	新規	更新	合計	(左記のうち) 不承認
R 2	211	4	215	0	75	546*	836	6
R 3	166	2	168	0	158	1,267	1,593	3
R 4	132	7	139	0	112	1,340	1,452	1
R 5	114	0	114	0	105	1,277	1,382	1
R 6 (1月末時点)	63	0	63	0	67	987	1,054	1

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、核酸アナログ製剤治療の更新は1年自動延長。

表2. 医療費助成認定件数インターフェロンフリー治療薬別内訳 (単位：件)

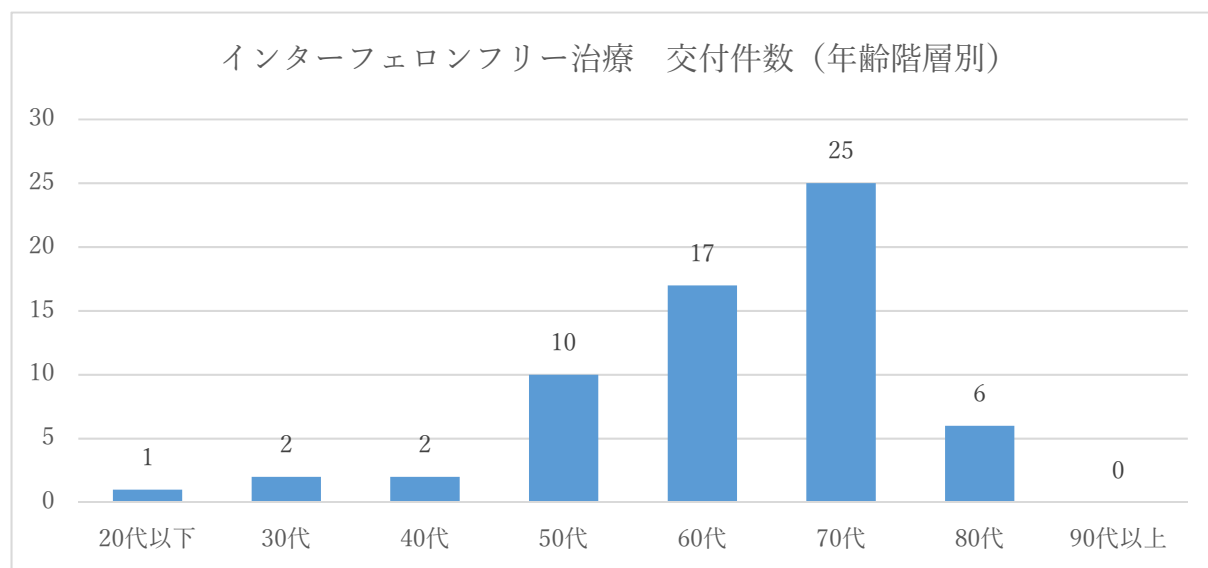
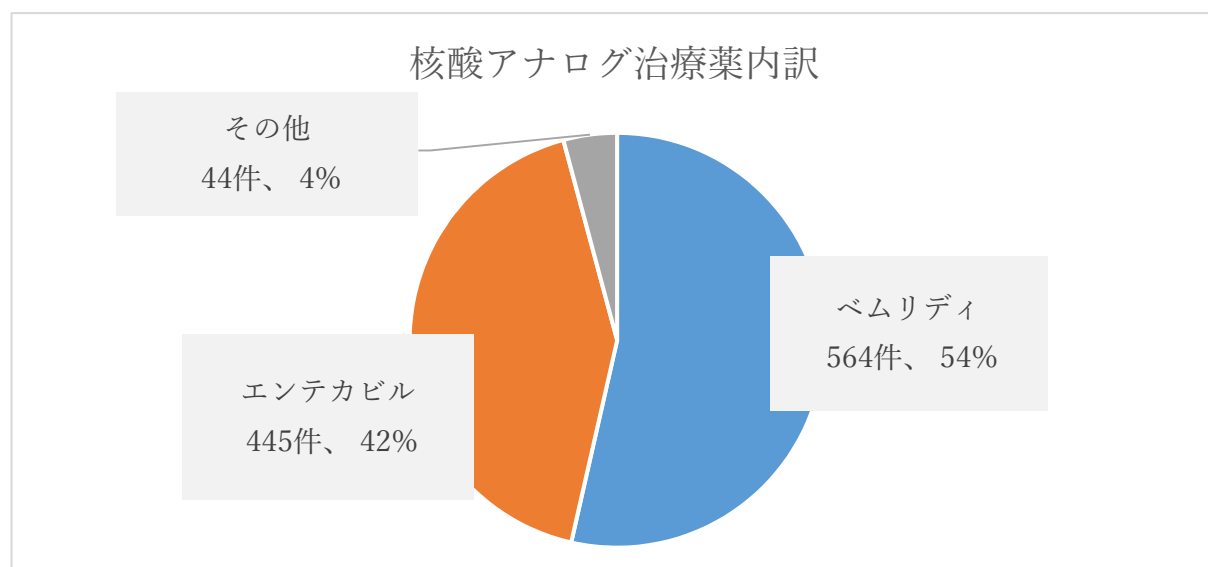
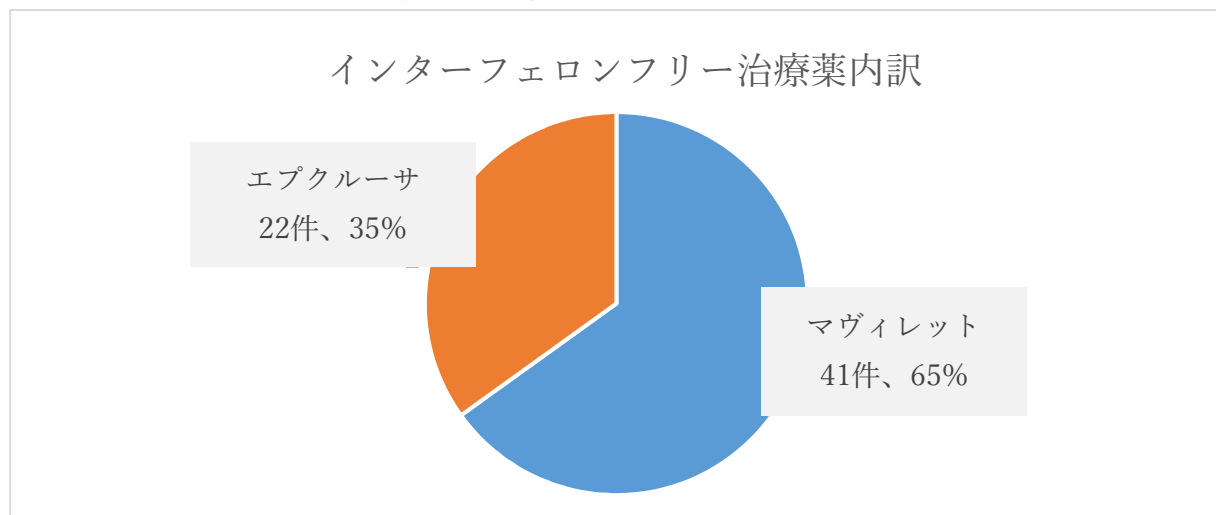
年度	マヴィレット	ハーボニー	エプクルーサ
R 5	71	5	38
R 6 (1月末時点)	41	0	22

表3. 医療費助成認定件数核酸アナログ治療薬別内訳 (単位：件)

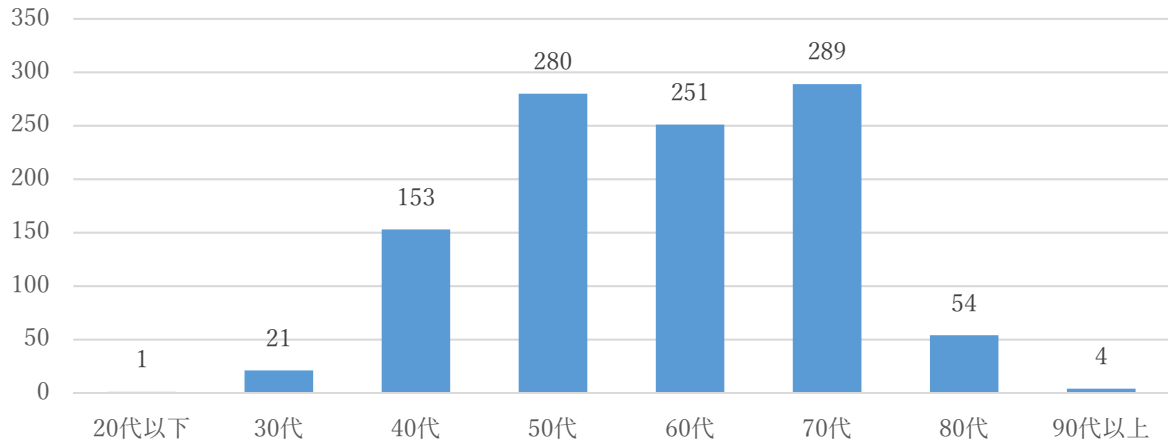
年度	ベムリディ	エンテカビル	テノホビル	ラミブジン	その他 (複数使用含む)
R 5	657	638	18	5	54
R 6 (1月末時点)	564	445	9	4	31

※ 集計方法の変更のため、R5年度分は審査件数と不一致。

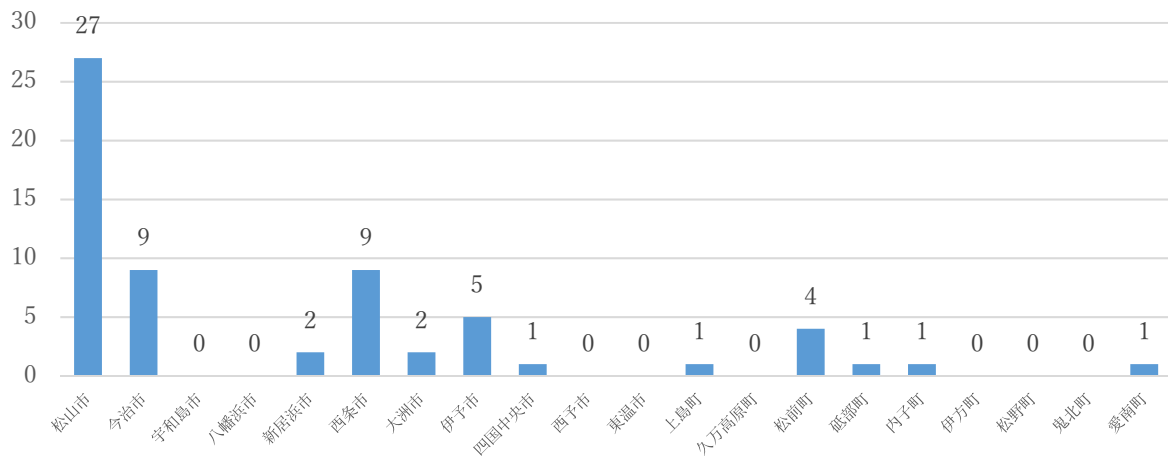
(3) 令和6年度の肝炎受給者の現状



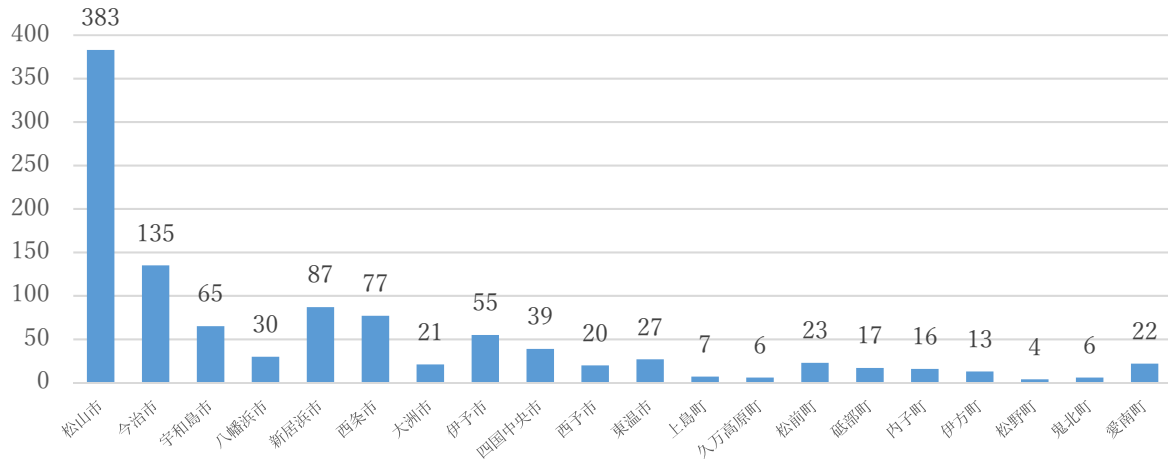
核酸アナログ治療 交付件数（年齢階層別）



インターフェロンフリー治療 交付件数（市町別）



核酸アナログ治療 交付件数（市町別）



5 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について

(1) 医療費助成について

平成 30 年 12 月から、B 型または C 型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変の患者の医療費の自己負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的に事業開始。

肝がん・重度肝硬変の入院・外来関係医療費（※）について、高額療養費算定基準額を超えた月の患者自己負担が 1 万円となるよう助成する。

※外来の場合は「分子標的薬を用いた化学療法」「肝動注化学療法」「粒子線治療」に関する医療に限る。

(2) 助成対象となる主な要件

- ・ B 型・C 型肝炎ウイルスが原因の肝がん・重度肝硬変と診断されていること。
- ・ 年収約 370 万円以下であること。
- ・ 対象医療に係る医療費について、高額療養費算定基準額を超えた月が助成月を含め過去 2 年間で 2 月以上あること。 ※R6 年度～変更
- ・ 知事の指定を受けた指定医療機関が行う対象医療であること。

(3) 指定医療機関の指定状況

標記事業における指定医療機関については、医療機関から申請があれば、拠点病院と協議の上追加しており、今年度は新規開設のこいずみ内科消化器内科クリニックを指定した。令和 7 年 1 月 31 日時点の指定状況は表 4 のとおり。

表 4：指定医療機関の指定状況

	名称	所在地	HC
1	社会福祉法人石川記念会 HITO 病院	四国中央市上分町 788 番地 1	四国中央
2	公立学校共済組合四国中央病院	四国中央市川之江町 2233 番地	四国中央
3	住友別子病院	新居浜市王子町 3 番 1 号	西条
4	一般財団法人積善会十全総合病院	新居浜市北新町 1 番 5 号	西条
5	愛媛県立新居浜病院	新居浜市本郷三丁目 1 番 1 号	西条
6	社会医療法人社団更生会 村上記念病院	西条市大町 739 番地	西条
7	社会福祉法人恩賜財団 済生会西条病院	西条市朔日市 269 番地 1	西条
8	消化器科久保病院	今治市内堀一丁目 1 番 19 号	今治
9	愛媛県立今治病院	今治市石井町 4 丁目 5 番 5 号	今治
10	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	今治市喜田村 7 丁目 1 番 6 号	今治
11	医療法人大樹会 今治南病院	今治市四村 103 番地 1	今治
12	松山ベテル病院	松山市祝谷六丁目 1229 番地	中予
13	松山市民病院	松山市大手町二丁目 6 番地 5	中予
14	愛媛県立中央病院	松山市春日町 83 番地	中予
15	愛媛生協病院	松山市来住町 1091 番地 1	中予

16	医療法人 岩崎内科	松山市高砂町一丁目3番地9	中予
17	松山協和病院	松山市立花五丁目1番53号	中予
18	松山赤十字病院	松山市文京町1番地	中予
19	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	松山市南梅本町甲160	中予
20	医療法人天真会 南高井病院	松山市南高井町333	中予
21	社会福祉法人恩賜財団 済生会松山病院	松山市山西町880-2	中予
22	社会医療法人真泉会 松山まどんな病院	松山市喜与町1丁目7-1	中予
23	おおぞら病院	松山市六軒家町4番20号	中予
24	愛媛大学医学部附属病院	東温市志津川454	中予
25	独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター	東温市横河原366	中予
26	こいずみ内科・消化器内科クリニック	八幡浜市松柏丙780番地	八幡浜
27	社会医療法人北斗会大洲中央病院	大洲市東大洲5番地	八幡浜
28	市立大洲病院	大洲市西大洲甲570番地	八幡浜
29	市立宇和島病院	宇和島市御殿町1番1号	宇和島
30	宇和島市立津島病院	宇和島市津島町高田丙15番地	宇和島
31	愛媛県立南宇和病院	南宇和郡愛南町城辺甲2433番地1	宇和島

(4) 認定・助成実績

事業開始から現在までの認定者数（延べ）及び助成件数は、表5のとおり。

表5：愛媛県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業における認定者数及び助成件数

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6 (1月末時点)	計
認定者数 (人)	2	10	7	36	38	50	80	223
助成件数 (件)	2	19	22	89	147	203	180	662

※認定件数の病態別内訳（肝がん：207件、肝硬変：5件、併発：11件）